



薬学部
同窓会長
桂 正俊

薬学部

〈創立年:1979年 会員数:6,765名〉

薬学部同窓会は6,700名を超える会員が全国各地で活躍しております。現在同窓会の活動は、主にwebを利用した医療薬学セミナーや将来ビジョン講座などを薬剤師支援センターと共催で行っております。また、同窓会準会員である在学生に対して、薬剤師国家試験対策講習会の追加や国家試験に向けての勉強が本格化する5年生に対して6年生の講義でも用いる薬剤師国家試験参考書(薬学セミナー発行の青本)の補助など様々な支援を行っております。また、「卒業生・在学生合同懇談会」を開催し、卒業後の進路相談をはじめ就職後に必要なスキルを若い先輩からの助言を受ける機会を設けることができました。一方、全国17支部(道内7、道外10)と医療薬学セミナーやその地域での薬業や医療に関する情報交換を行っているところです。薬学部同窓会は会員数の増加により、道内支部の細分化と道外の卒業生

が減少していることから本州支部の統合やブロック化を含めて現在進めております。また、本学主催の「医療職体験ビレッジ」への支援を行い、札幌駅地下歩行空間、紀伊国屋書店札幌支店、函館高層書店そして今年度は岡書帯広イオンモール店など薬剤師の仕事を通じた伝ふるブースを設置しました。最後に、現在薬学部同窓会では在学生のサポートとして「学修奨励金」の支給を検討しております。この事業は、学びながら尽力してまいりたいと存じます。結び、会員各位をはじめ、日頃より本会の活動をお支えいただいておりますすべての皆様のご健勝とご多幸、ならびに今後ますますのご活躍を心より祈念申し上げます。

■ <https://www.hoku-iry-u.ac.jp/~phalumni/> ■ yaku-dousoukai@hoku-iry-u.ac.jp



歯学部
同窓会長
袁輪 隆宏

歯学部

〈創立年:1984年 会員数:約3,500名〉

平素より、歯学部同窓会の活動に対し、格別のご高配と多大なご支援を賜り、誠にありがとうございます。ここに謹んで深甚なる謝意を表し、心より御礼申し上げます。本会は、「会員の福祉と親睦の増進、学術研究の向上、ならびに学部の発展に寄与すること」を目的として発会し、本年をもって42年目を迎える運びとなりました。本年は43期生が巣立ち、それぞれの道へと歩みを進める一方、49期生が新たに学舎の門をくぐり、同窓会の歴史に新たな一頁が加えられます。このような歩みの中、本会は全国各地における臨床研修セミナーの開催およびその後の懇親会をはじめ、周年記念事業の実施、学生に対するOBによる応援講義、5年生の学外実習への協力、海外短期留学の支援、さらには卒業試験・国家試験・謝恩会に至るまで、継続的かつ多岐にわたる活動を展開してまいりました。また、若手会員ならびに在学生から寄せられた要望に応えるべく、昨年7月5日には初の試みとして「ヤングフェス2026」を開催いたしました。本企画では、「勤務形態や開業」「認定医・専門医・学位」「ライフイベントと仕事の両立」など幅広いテーマを取り上げ、将来を見据えた学びの機会を提供いたしました。先輩諸氏の講話に真剣な眼差しで耳を傾ける学

生の姿は誠に印象深く、本企画の意義を強く実感するものでした。さらに、その後開催された懇親会においても世代を超えた交流が深まり、有意義な情報共有がなされたとの報告を受けております。本会は、発会以来の理念に則り、時代の変遷に即した活動を重ねてまいりました。母校がFビレッジへと移転した後も、その本質を見失うことなく、次なる50年を見据え、着実に歩みを進めてまいり所存でございます。「健康はすべてではないが、健康を失えばすべてを失う」歯科口腔医療は、まさに人々の健康を支える根幹であります。今後本分野における価値の創造と探究を重ね、社会に貢献できるよう、本会として、またその一助として、微力ながら尽力してまいりたいと存じます。結び、会員各位をはじめ、日頃より本会の活動をお支えいただいておりますすべての皆様のご健勝とご多幸、ならびに今後ますますのご活躍を心より祈念申し上げます。

■ <http://www.hoku-iry-u.com/> ■ dousoukai-honbu@clock.ocn.ne.jp
■ 事務局 札幌市北区北6条西6丁目2-11 第3山崎ビル4F
TEL 011-299-9069 FAX 011-299-9609



看護学部
同窓会長
川村 武昭

看護福祉学部／看護学科・札幌医療福祉専門学校／看護学科

〈創立年:1997年 会員数:約3,300名〉

平素より同窓会活動については、格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。おかげさまで本会の活動間もなく30周年を迎えられる運びとなりました。偏に日頃から御尽力をいただいている同窓生の皆様をはじめ、各学部学科の同窓会役員の皆様、そして大学関係者の皆様の協力の賜です。この場をお借りして深く御礼申し上げます。さて、福祉会の主な活動内容としては、福祉マネジメント学科との協働で開催しております看護福祉学部同窓会セミナー(年2回)と、看護福祉学部学会(年1回)の企画及び運営を軸に、歯学部を始めとした4学部と歯科衛生士専門学校とともに協働で開催しております同窓会コラボ☆講演会(年1回)があります。また、これらの活動状況や各地で活躍する同窓生の近況報告等を同窓生の皆さんにお伝えする会報誌「Fukueikai」の発行やホームページの運営、そして同窓生同士の繋がりを守るものとして会員名簿の管理を行っております。また、これら同窓会活動の検討のため、同窓生で構成される同窓会理事会を年3回程度開催しております。現在、当同窓会の会員は約3,300名を数え、全国各地の保健・医療・福祉・教育をはじめとした様々な現場で活躍しています。今、同窓会として協議していることは、卒業した後も当時の同級生や先生たちと最近の状況や思いなどを双方向でやり取りができる場、誰でも戻って

来られる場を将来に残していくための作戦です。社会や時代の移り変わりとともに、人と人とのつながり方やその望む形は大きく変わりましたが、私たちがいつも誰かの支えを必要とし、また同時に、誰かを支えられる希少な存在であることに変わりはないと感じています。一人一人の存在が、どこかにいる誰かの心の支えや何かのきっかけになると思っています。同窓会活動は卒業生たちによる卒業生たちや私たちがこの世界に送り出してくれた先生、そして学び舎をつないでいく活動として、私たちの誰かの日々の挑戦や悩み、思いが、誰かにとってのモチベーションや支えになるように、そして、北海道医療大学で過ごした学生生活を思い出し、大学と自身とのつながりを振り返る機会を通じて新たなつながりをつくること、これからの大学の発展につながるのではと考えています。私たち卒業生一人一人の活躍が大学の今後の益々の発展につながることを願ひ、私たち同窓会はその仕組みを考へていきたいと思っています。それが同窓会として、卒業生として、先生や大学にできる恩返しであり、また、私たちがつながりあえる「糸」なのだと思うところです。これからもどうぞ福祉会をよろしくお願ひ致します。

■ kango@hoku-iry-u.ac.jp



福祉マネジメント学科
同窓会長
小畑 友希

看護福祉学部／福祉マネジメント学科・札幌医療福祉専門学校／介護福祉学科

〈創立年:2000年 会員数:約2,300名〉

平素より福祉・介護同窓会活動にご理解ご協力賜り感謝申し上げます。さて、私たちが福祉学を志した根底には平和への願ひがあると思います。そして、卒業後の職業人としての共通理念には、人権尊重と人間尊厳が掲げられています。当同窓会の活動は、微力ではありますが、福祉学を志して高い理念のもと日々奮闘している仲間を支えることであると思います。今年も例年通り看護福祉学部同窓会セミナーを開催しました。「主体的なキャリア形成に向けて～これまでのキャリアを活かしたキャリアアップ・キャリアチェンジ～」について、福祉からは2名の卒業生に報告いただきました。「中高校生向け医療ソーシャルワーカー講座(病院ではたらく福祉のしごと講座)」、社会的養護環境下の児童を対象とした「大学へこう～1日大学生～」、「北海道地区高校生介護技術コンテスト」と、それぞれの事業に同窓会と

して後援しました。また、大学教員を含む3名以上が集まる学習会やネットワークづくり等を目的とする会に、人数に応じて助成する小規模同窓会事業も行っていきます。

福祉を志す学生を増やすこと、在学中の学びを応援すること、卒業生の活動や活躍を支援すること、それぞれのチャンネルで同窓会として力添えができ、活用してもらえるような仕組みを検討していければと思います。そして、私たちは福祉の仕事に誇りを持って歩み続けていきたいと思っています。今後とも皆様のご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

■ <https://www.hoku-iry-u.ac.jp/~fukudo/>
■ fukudo@hoku-iry-u.ac.jp



臨床心理学科
同窓会長
上河邊 力

心理科学部／臨床心理学科

〈創立年:2006年 会員数:約840名〉

同窓会では、今年度も同窓会セミナーの開催や新入生歓迎会など、同窓生と母校を繋ぐ活動を精力的に継続しています。柱となる「同窓会セミナー」は、昨年度に引き続きオンラインと対面のハイブリッド形式を採用し、全2回の開催で延べ100名を超える方々にご参加いただきました。特筆すべきは、コロナ禍で定着したオンライン参加の利便性を維持しつつも、対面での参加者数が増えるという賑わいを取り戻した点です。今年度はコロナ禍以前の水準にまで回復し、会場は対面ならではの熱気に包まれました。セミナー後は懇親会も開催し、現場で活躍する公認心理師等の専門職から、多領域で研鑽を積む同窓生まで、世代を超えた深い交流の場となりました。また、在学生への支援も本会の重要な使命です。各イベントには毎回多くの学生が参加し、先輩方に現場のリアルな悩みやキャリア形成について熱心に質問を投げかけ、学びを得ている姿が見られます。昨年度より開始した大学講義室での新入生歓迎会も、今年度

はさらに内容を充実させて実施しました。新入生、在学生、教職員が一堂に会し、心理学にまつわる謎解きワークショップなどのチーム対抗企画や食事を楽しみながら親睦を深めました。この取り組みは新入生からも極めて高い評価を得ており入学初期の大学生活への適応(スケジュール・アパシーやドロップアウトの防止)をサポートする同窓会の新たな伝統として、今後も継続してまいります。

最後になりますが、当同窓会への変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。なお、公式LINEアカウントでは最新の活動情報を配信しております。未登録の方は、この機会にぜひご登録ください。

■ shinri.dousoukai@gmail.com



理学療法学科
同窓会長
白幡 吏矩

リハビリテーション科学部／理学療法学科

〈創立年:2017年 会員数:628名〉

平素より理学療法学科同窓会の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。日頃より活動に積極的にご協力いただいている本会役員をはじめ、同窓会会員の皆様、他学部同窓会の皆様、大学関係者の皆様に、改めて御礼申し上げます。

本会は2026年9月より、設立10年目となる一年がスタートいたします。若い団体ながら、これまで様々な事業を模索し実現して参りました。武田智洋初代会長をはじめとする多くの卒業生のご尽力により、10年目を迎えられることに感慨深い思いをいたしました。本会開設当初より開催している同窓会セミナーは第22回を迎え、著名な講師によるご講演は、同窓会員のみなさんだけでなく一般参加者からも大変好評をいただいております。また、卒業生ならびに理学療法学科教員の皆様のご協力のもと、臨床に関するお悩み相談会、有志による勉強会、卒業研究発表会への賞の提供など、卒業生および在学生の日々の活動を後押しする事業を継続して参りまし

た。昨年度は、理学療法学科教員の皆様からのお声かけにより、盛岡市で開催された「リハビリ職まるごと体験デー」に同窓会員が参加し、在学生、教員、同窓会員が活動を共にする機会が実現しました。世代や立場を超えた交流は、双方にとって刺激となる大変貴重な時間となりました。今年度は、本会会員および3月に卒業を迎える新会員皆様の卒業後支援体制をさらに充実させるとともに、2027年度に開催予定の10周年記念イベントに向け、作業療法学科同窓会と準備を進めていく予定です。

今後、後援会の皆様をはじめ、他学部同窓会の皆様からご指導を賜りながら、本学の発展ならびに本会会員のさらなる活躍の一助となるべく、活動を継続して参ります。

■ <https://iryoudaapt.web.fc2.com/> ■ iryoudaapt@gmail.com

〈創立年:2017年 会員数:約310名〉



作業療法学科
同窓会長

田丸 仁啓

リハビリテーション科学部/作業療法学科

北海道医療大学リハビリテーション科学部作業療法学科同窓会は、卒業生相互の親睦を深めるとともに、母校の発展および在学生・卒業生への支援を目的として活動しております。本同窓会では、卒業年度や勤務分野、地域の違いを越えてつながることのできる場づくりを大切にしながら、同窓生同士の交流促進や情報共有に取り組みをまいりました。近年は、臨床現場における実践や研究活動、教育分野での取り組みなど、さまざまな領域で活躍する卒業生が互いに学び合える機会として、セミナーや情報発信を中心とした活動を行っております。こうした活動は、卒業生にとって専門職としての成長を支えるだけでなく、世代を越えたネットワーク形成にもつながっております。また、同窓会は在学生やそのご家族の皆さまに対して、作業療法士としてのキャリア形成や卒業後の進路を身近に感じていただく役割も担っていると考

えます。卒業生の多様な活躍や経験を共有することは、在学生が将来像を描くうえでの一助になるとともに、保護者の皆さまにとっても教育の成果を実感していただく機会になるものと期待しております。

今後も母校との連携を大切にしながら、同窓生が互いに支え合い、専門職として継続的に成長できる同窓会を目指して活動を進めてまいります。引き続き、皆さまの温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ <https://ot40-jp.webnode.jp/>
■ hokuriyodai.ot@gmail.com

〈創立年:1994年 会員数:約1,500名〉



言語聴覚療法学科
同窓会長

石黒 恵美子

心理科学部・リハビリテーション科学部/言語聴覚療法学科・ 札幌医療福祉専門学校/言語聴覚療法学科・言語聴覚療法専攻学科

当会は札幌医療福祉専門学校の言語聴覚療法学科の第1期卒業生により設立されました。大学の学部としてスタートしてから更に多くの卒業生を迎え、会員数約1500名の会になっております。講演会の企画・運営と会報の発行を通し現役生・卒業生の皆様への情報提供を行ってきました。今後も、同窓会セミナーの開催等を通して、会員の皆様のお役に立てるよう活動を予定しています。

他学部同窓会と毎年3月に合同開催している講演会「口から食べられる理想に向かって」は今年で第19弾となりました。言語聴覚療法学科の同窓会で始まった講演会のテーマでしたが、歯学部をはじめ多くの同窓会会員の皆様と歩みを共にするようになり、長く続く講演会とな

りました。このような学部間の繋がりを活かしての活動は、北海道医療大学ならではの特微かと存じます。毎年、道内外の様々な先生方を講師にお迎えし、多くの皆様より好評をいただいております。これも同窓会の運営に関し、日頃より後援会の皆様・内外の先生方のご理解・ご協力をいただいているおかげです。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。

今後も、同窓会会員の皆様はもちろんのこと、地域の皆様、大学の発展のためにお役に立てるよう、役員一同努力して参ります。

■ st-kai@hoku-iryu-u.ac.jp

〈創立年:2023年 会員数:約170名〉



臨床検査学科
同窓会長

古高 裕導

医療技術学部/臨床検査学科

平素より本同窓会の活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本学部では昨春、三期生が新たに社会へと加わりました。現在は一期生から三期生までが、北海道を中心とした各地の医療現場で臨床検査技師として日々研鑽を積んでおります。そしてこの春、四期生が希望を胸に本学を卒業し、新たに同窓会の一員となることを心より歓迎いたします。

2026年4月に設立4年目を迎える当会では、昨年度、卒業教育支援の主軸として本学部の丸川教授主導のもと「細胞診勉強会」の合宿を開催いたしました。参加した同窓生は母校の恵まれた環境を活かし、互いに切磋琢磨しながら鏡検やスクリーニングの模擬演習に熱心に取り組まれました。その成果として、この度2名の同窓生が難関である細胞検査士資格試験に

見事合格いたしました。新たなスペシャリストの誕生は、本会にとっても大きな喜びであり誇りです。また、念願であった「一期生～三期生合同総会」を執り行い、期を超えた縦のつながりを築く貴重な第一歩となりました。2026年度は、これらの活動を継続・発展させ、四期生と共にさらに活気あるネットワークの構築を目指します。最新の臨床検査技術を学ぶセミナーの拡充や卒業生同士の円滑な情報交換の場を提供し、卒業後も母校を拠点として共に学び続けられる環境を強固にすることで、本学からより質の高い臨床検査を広めていけるよう邁進いたします。

本会はまた発展途上の組織ですが、卒業生の皆様と共により活気ある会を築いていけることを楽しみにしております。今後ともご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

北海道医療大学同窓会支部等連絡先

■薬学部

支部名	支部長(期)
札幌支部	多田 正人(4)
道北支部	沼野 達行(10)
十勝支部	黒田 一弘(13)
道南支部	吉田 元(12)
釧根支部	米原 健秀(12)
オホーツク支部	森谷 俊憲(13)
日胆支部	寺口 元(6)
青森支部	三上 章(1)
栃木支部	豊住 暢臣(17)
茨城支部	青木 邦子(4)
北越支部	杉本 雅規(3)
神奈川支部	肥後 保仁(7)
東海支部	高尾 信彦(2)
関西支部	山口 和俊(9)
中四国支部	黒長 正明(9)
九州支部	山田 昌人(3)
沖縄支部	村田 成夫(4)

※北越支部 支部長代理

■歯学部

支部名	支部長(期)	連絡先
北海道支部連合会	佐藤 明理(4)	医療法人社団明雄会そのま歯科 ☎011-387-8811
青森県支部	佐藤 孝治(2)	佐藤歯科医院 ☎0172-36-0412
岩手県支部	村井 雄司(23)	村井産婦人科小児歯科医院 ☎019-636-2233
宮城県支部	郷家 道彦(10)	郷家第二歯科医院 ☎022-223-3306
秋田県支部	石川 承平(14)	いしかわ歯科・矯正歯科 ☎018-887-3988
山形県支部	芳賀 俊和(5)	芳賀歯科医院 ☎0238-84-8107
福島県支部	外島 昭夫(7)	ホワイト歯科医院 ☎024-875-3232
茨城県支部	秦 博文(2)	社会医療法人愛宣会 ひたち医療センター歯科 ☎0294-37-0713
栃木県支部	篠原 澄人(6)	しのはら歯科クリニック ☎0282-82-6656
群馬県支部		
埼玉県支部	柿沼 信和(10)	ひやり歯科医院 ☎0480-69-1600
千葉県支部	寺山 功(4)	葉山歯科医院 ☎0471-64-6480
東京都支部	蛇名 勝之(5)	エビナ歯科医院 ☎03-3200-4818

■看護福祉学部

☎0133-23-1211
○看護学科(内線:3641)担当:明野(実践基礎看護学講座)
○福祉マネジメント学科(内線:3708)担当:池森(介護福祉学講座)

■心理科学部・リハビリテーション科学部

☎0133-23-1211(学務部 心理科学課・リハビリテーション科学課)
○臨床心理学科 ○作業療法学科
○理学療法学科 ○言語聴覚療法学科

支部名	支部長(期)	連絡先
神奈川県支部	阿部 智彦(2)	阿部歯科医院 ☎045-953-7676
山梨県支部	安田 伸一(13)	やすだデンタルクリニック ☎055-243-8461
長野県支部	小池 文一(2)	小池歯科医院 ☎026-224-1482
新潟県支部	山下 克弥(9)	わかば歯科医院 ☎0258-83-1010
富山県支部	藤川 晃(5)	藤川歯科医院 ☎0764-83-2231
石川県支部	久保 伸一(2)	粟津歯科医院 ☎0761-44-4852
愛知県支部	木村 英雄(1)	こめの歯科医院 ☎052-451-1182
京都府支部	堀内 光一(10)	堀内歯科医院 ☎0774-21-4016
近畿地区	瀧本 智朗(17)	とも歯科医院 ☎06-6654-6831
広島県支部	新谷 宏規(16)	新谷歯科医院 ☎082-285-1007
四国支部	谷本 良司(3)	医療法人谷本歯科医院 ☎0883-42-2069
九州支部	池田 周平(20)	池田歯科 ☎0954-26-8400
沖縄県支部	玉城 均(1)	ながた歯科医院 ☎098-854-1182

※京都府支部 支部長代理



歯科衛生士専門学校
同窓会長

梶 美奈子

歯学部附属歯科衛生士専門学校

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本同窓会の運営に対し、ご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。1991年に既卒者を中心に結成され、ほんの僅かな人数で同窓会がどのようなものか?どんなことをするのか?全くわからぬままスタートした本同窓会も30年の時を重ね会員数は1,300名を超える大所帯となりました。30年を超えて会を無事運営継続できたのも会員の皆様やご家族の皆様のご協力と日々会の運営のために努力を惜しまない理事や代表者、皆様のおかげであると感謝しております。

1948年に修業年限1年制で始まった歯科衛生士の教育年限が2012年度以降64年の時を経て3年以上となりました。時代と共に求められるものが増えて「歯科衛生士」という職業そのものが広く社会に知られてきたと感じております。歯科衛生士はあらゆるライフステージに関わり、あらゆる状況に対応するようになっています。う蝕(ムシバ)や歯周病はもちろんのこと、口

〈創立年:1991年 正会員数:約1,387名、準会員:18名、特別会員:8名〉

腔癌、インプラント、摂食嚥下、歯科訪問診療などあらゆる場面で患者さんのQOLの向上のために必要な職種となったのです。さらに疾患のある方は勿論、疾患のない方へも予防を中心に関わることも多くあります。また歯科衛生士は臨床の場のみでなく教育、研究、企業など幅広い範囲で活躍しています。実際に、同窓生から本校の校長が選出されました。歯科衛生士の持つ可能性が大きいことを表しています。

2026年春には新しい教育を受け、新しい考えを有する皆様卒業されます。そんな素敵な皆様をはじめ会員の皆様にとって、より有益な同窓会であるように努力いたします。

■ <https://www.hoku-iryu-u.ac.jp/katakuri/>
■ ohyama@hoku-iryu-u.ac.jp

歯学部附属歯科衛生士専門学校同窓会支部連絡先

北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校 ☎0133-23-1211(内線:3482)担当:大山・岡橋

卒業生を対象とした各セミナー・
公開講座に関するお問い合わせ先

学術交流推進部 地域連携課 ☎0133-23-1129(直通) E-mail:nice@hoku-iryu-u.ac.jp